

令和6年度学校評価アンケート 自由記述への回答

●本校での生活指導のありかたについて

美原高校の生活指導につきまして、日ごろからご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。本校では安全でよりよい学校生活・学習の場となることを常々考えながら、生活指導をおこなっています。本校の卒業後の進路は就職3割、専門学校4割、短大・四大3割と卒業後すぐ、または1～2年で社会に出る生徒が多く『挨拶』や『時間を守る』『規則を守る』等の生活指導が社会に巣立つ前のキャリア教育として重要な位置づけを担っていると考えています。その指導を実践することで明るく気持ちの良い挨拶や正しい言葉遣いのできる生徒が多く、懲戒指導件数や外部からの学校への苦情は減少、大阪府下200校近い高校の中でも遅刻の少ない学校となりました。規則や時間等を守り、学校生活に前向きに取り組む生徒が増えるように日々、指導しております。しかしながら、コロナ禍を経て、欠席や遅刻に対する意識が変化、現在は欠席数が多く、遅刻数も増加傾向となっており、欠席数・遅刻数を再度減らすことが課題となっております。

高校生という多感な時期は、多くの事に挑戦し、成功と失敗を積み重ね、大人に成長していくものだと考えています。何かを達成・成功する体験も大切ですが、社会で生活していくには失敗から学ぶ事もあると思います。高校生活の中で失敗したときの叱咤激励、特に規則や法律を違反した時には厳しく指導をすることが大切であり、それが人生で大きな糧になることもあったと考え指導をおこなっています。

●校則について

本校の校則が厳しいのではないかとご意見を頂きますが、他校と比べても厳しい校則等はありません。多くの高校で同等の規則があり、本校ではその規則を『きちんと守らせる』指導をしています。本校では服装や頭髪・化粧などで外見をアピールすることよりも、挨拶や言葉遣い、マナー遵守等の基本的な生活習慣や基礎学力を身につけることで内面的なアピールができるようになって欲しいと願いつつ、規則・ルールを整え指導を行っています。生徒には、本校の規則・ルールのみならず、法律順守の必要性や社会生活を行う上で必要となるマナーなどを理解させる努力を惜しまず、またなぜそれが必要なのかを説きながら指導を進めています。生徒の成長を常に考え、将来に希望がもてるように、そして社会に出たときの苦勞を少しでも緩和できるように強い信念をもって指導をおこなっています。

また指導が厳しいとのご意見も頂きますが、教員間で指導のブレが生じないよう、教員同士で指導方法や生徒情報の交換を密に行い、個に応じた指導もおこなっています。暴言や暴力の制止を無視するような場合は、大人として毅然とした態度をとる必要もあり、厳しい言葉を使う事もありますが、基本的人権を無視するような行為や言葉を発する事がないように教職員へ指示をしています。万が一、そのような事があればご連絡をいただければと思います。

●教員の言葉遣いや話す内容について

『厳しく寄り添う』姿勢をもって指導することを基本に考えています。厳しいだけではなく、適切な言葉を用いて寄り添うことをしっかり行い、指導して参ります。また、話す内容については事前にしっかりと考え、生徒に誤解を与えないよう心がけます。

●授業について

本校では、定期的に研究授業や授業見学を行うなど、校内研修等を通じて「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に力を入れています。今後も各教科で分析、改善策を検討し日々教材研究に励んでいきたいと思っています。これからもよりわかりやすい授業をめざし、継続して授業改善に取り組み、生徒の基礎学力の定着と学力のさらなる向上を図ります。